

決算特別委員会及びまちづくり・活性化特別委員会で 合意形成を図った意見・要望(要約)

令和3年度予算案及び事業等に反映する必要があると思われるもの

【決算特別委員会】

決算特別委員会において各委員から出された意見・要望を集約した結果、全会派及び無所属議員全員による合意形成が図られたものについて市長に回答を求めました。

●小中学校のトイレの洋式化を早急に

小中学校の施設整備については、子どもたちの教育環境の向上に加え、災害時の避難所機能の充実などの観点からも、必要なトイレの洋式化を早急に進めてほしい。

●空調(エアコン)整備は有利な財源に対応できる取組を

小中学校の空調設備については、未設置となっている特別教室への設置の必要性や設置箇所の検討を行うとともに、体育館への設置についても有利な財源等が確保できる場合に対応できるよう取り組んでほしい。

【まちづくり・活性化特別委員会】

まちづくり・活性化特別委員会では全委員の合意形成を図り、特に令和3年度予算案及び事業等に反映する必要があると思われるものについて実現に向けて市長に要望し回答を求めました。

●若者の地域企業への就業を促進し定住促進を図る観点

大牟田人材確保推進事業実行委員会では情報交換だけでなく、一人でも多くの就職につながるよう、より具体的な支援策などについて積極的な提案や協議を行ってほしい。

また、地域企業への人材確保という面で、市内高等学校や有明工業高等専門学校とともに、帝京大学を含めた地域への就業促進の仕組みづくりを行ってほしい。

さらに、若者の移住・定住を促進させるためにも対象者や家族も含めた企業フェスタや企業紹介の実施とともに、Uターンなどのイメージ向上も図ってほしい。

これらの実現のため、市長自身に強いリーダーシップを求める。



●地域資源を生かした生活・子育て環境を充実

家庭と地域をつなぐソーシャルワーカーについては、保健センターに子どもフロアができることを大きな契機と捉え、継続性や体制強化の観点から、安定した雇用の確保を図ってほしい。

学童保育所・クラブの充実については、利用時間の延長など要望してきたが、支援員確保など課題もあることから予算を増額し対応してほしい。

なお、ソーシャルワーカーの活用と学童保育所・クラブの充実については、予算の増額や指定管理者等の協力も必要であるため、市長の政治判断をお願いしたい。

また、教育・子育て環境の充実が本市の魅力をアピールすることにもつながることから、積極的な情報発信に一層注力してほしい。

●健康づくりや健康寿命につながる取組を

健康寿命延伸の施策・事業の取組については、市民一人一人への事業推進が重要であり、フレイル予防の重要性の普及・啓発、推進を目的とするサポーター制度等の制度導入を求める。

また、同制度等を活用し、特定健康診査及びがん検診の受診勧奨を行ってほしい。

県の健康アプリや本市独自の「おおむた+Walking」については、健康づくりの目的を果たす大きなツールとして有効活用するとともに、広く市民に伝えながら、より利用しやすい充実したものとなるよう努めてほしい。

